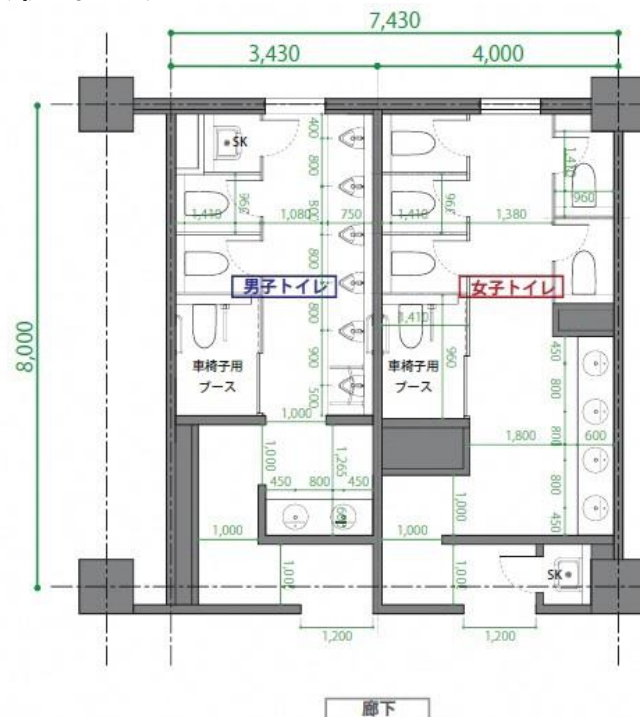


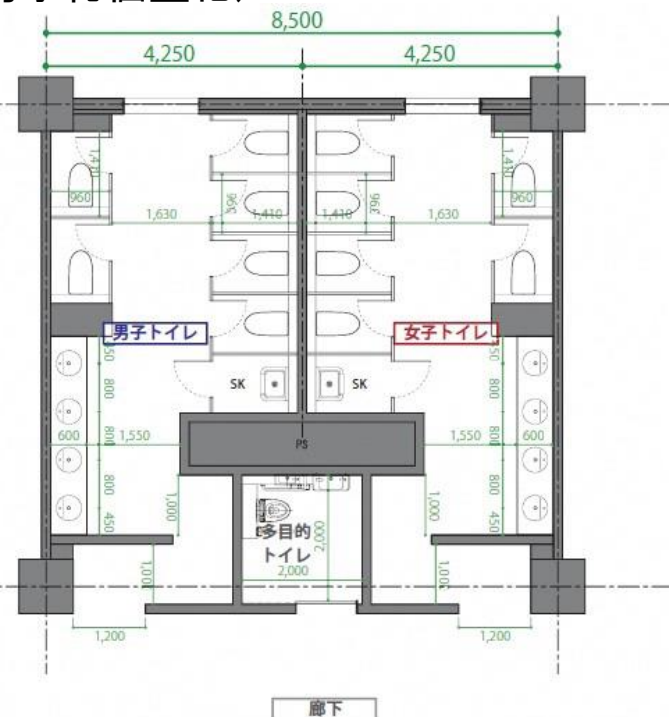
トイレ、更衣室

- トイレはトランスジェンダー*対応が可能となるよう、すべて個室化し、洋便器を設置する
- 原則として、和便器は設置しない
- 更衣室は、小学校、中学校とも0.5コマ×2室とする
- 多目的トイレ*を各階に1カ所以上設置する

(従来型)



(男子総個室化)



(参考)

鳥栖の学校トイレ洋式化 2017年5月4日 佐賀新聞(佐賀県)

鳥栖市は本年度からトイレを改修する市立小中学校10校について、心と体の性が一致しないトランスジェンダー*(性同一性障害を含む)の児童生徒にも配慮し、男子トイレから小便器をなくし、すべて個室で洋式化する方針を決めた。多様性を尊重する先駆的な取り組みに注目したい。

家庭のトイレは9割以上が洋式化されているのに対し、小中学校は全国的に耐震化優先で洋式化が遅れている。鳥栖市内の小中学校の洋式化率は40%台半ばで、古くて「臭い」「汚い」「暗い」と評判が悪い。

こうした中で昨年9月、同市小中学校PTA連合会が市へトイレ改修の要望書を提出。市議会も9月定例会で早期改修を求める決議をしたのを受けて、市教委は改修を急ぐこととし12月市議会に設計費などを計上した。ただし、このときは大規模改修中だった田代中と同じように男子トイレの小便器を残す計画だった。

年明け後、視察や議論を重ね、「だれもが最も利用しやすいトイレ整備を」と考えて「思い切った判断」(市教委)、つまり小便器をなくす方針に傾いていった。3月に行った保護者へのアンケートで6割が賛成したことも後押しした。